

アメリカンフットボール（以下アメフット）が面白い。「観客に見せること」を意識して作ったスポーツだ。ルール改正も観客が楽しむことを意識しているようだ。アメフットというと、「すぐ試合が止まるし、ルールが分からない」という声を聞く。その側面はあるが、考えてみると、アメリカではおばあちゃんまでもが熱狂的に観戦しているのだ。ルールも野球に比べれば、簡単とも言える。

アメフットの最大の特徴は、「選手」だ。特にプロでは、アメフット以外のスポーツからの転入組がたくさんいる。オリンピック陸上100メートルのメダリストがいたり、スキーのモーグル世界チャンピオンもいたりする。他にも、元バスケット選手だったり、元野球選手だったり……。異色な所では、現役時代に映画出演し俳優業をやっている選手もいる。たとえば、弁護士資格を持っている頭脳派も……。どっちが正業なんだろう？

日本で例えれば、陸上競技の為末や末続、大相撲の千代大海が、アメフットで闘っているのだ。その上さらに、この私、石丸も出場しているかもしれないのだ。

どうやらアメリカでは日本と違って、スポーツの兼業がよくあることのようにだ。兼業農家ならぬ、兼業スポーツマンである。なかでも驚いたのは、同時に、アメフツ

トと野球の両方の選手だった者までいる。それも、両方の試合で素晴らしい成績を残しながら！もう一度日本で例えると、イチローが野球選手として活躍しながら、アメフットの試合にも出ているようなものなのだ。

以前見た試合で、こんな豪華なシーンがあったように記憶している。世界屈指のメダリストがボールを持って走る。それを追いかけるのが、これまたメダリスト！そんなゾクゾクする試合を、たまには見てみませんか？

【朝日新聞・マリオン】

2007年1月24日掲載